

パッチワークをつくろう

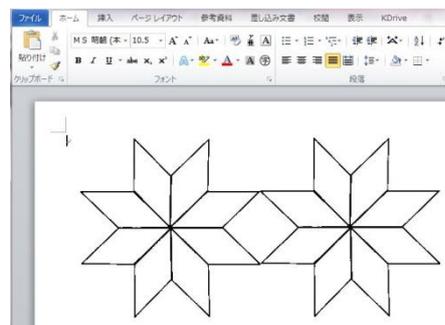
ワードで、パッチワークをしてみましょう。型紙の用意→配色の決定→布地集め→図形の貼り付け の順で行なっていきます。完成した図柄は、ランチョンマット、紙バッグなどの柄に使ってみましょう。

1. 型紙の用意

インターネットで「パッチワーク 型紙」で検索すると、「Que Sera Sera」というサイト

(<http://tomonosuke.uunyan.com/dejikata/index2.html>) など、たくさん見つけられます。好きな型紙を使ってください。

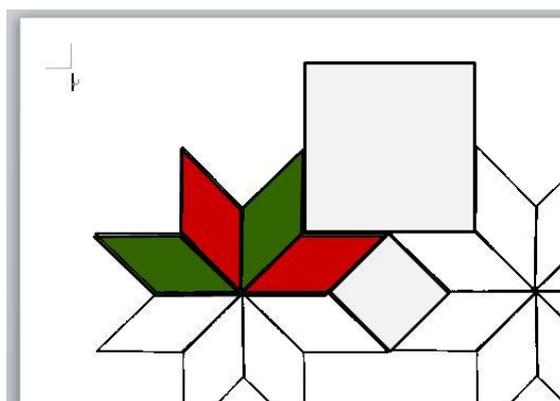
ここでは、添付のオリジナル型紙を使ってみます。ワードに型紙図を、挿入します。



2. 配色の決定

型紙の図形に合わせて、「挿入」タブ→「図形」から図形を挿入します。型紙に、メニューの中のない図形が使われていたら、「曲線」や「フリーフォーム」を使って、自分で作ってしましましょう。(「フリーフォーム」のほうが、手作り感が出ます。)

図形を好みの色で塗りつぶし、配色を考えます。ここでは、クリスマスイメージして、ひし形部分は赤と緑、つなぎ部分の四角はうすいグレー、としてみます。



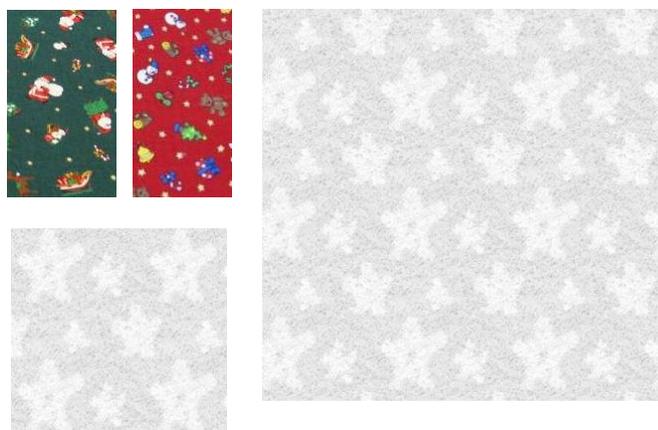
3. 布地集め

インターネットから、配色にマッチした布地画像を集めます。

「布地 ○○」というキーワードで検索してみましょう(「○○」には「クリスマス」「ハート」などが入ります)。

気に入った布地画像を見つけたら、挿入する図形の形に合わせてキャプチャします。

(キャプチャについては、「キャプチャソフトの学習と、解説書の作成」補助テキストを参照してください。)



Word109

4. 図形の貼り付け

型紙を移動させ、緑色のひし形を選択。

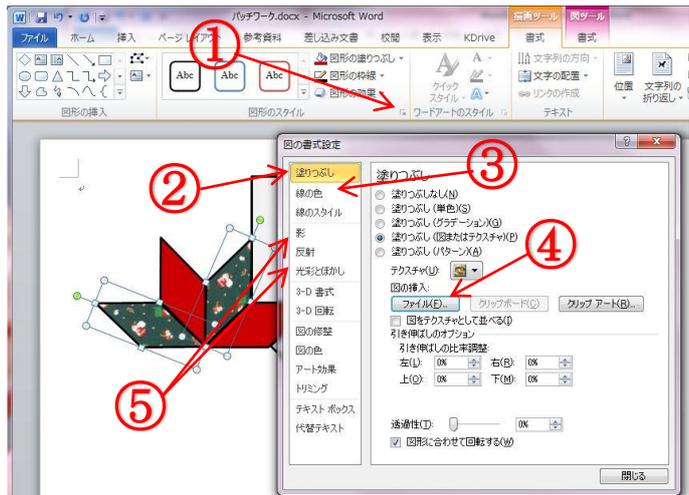
①「書式」タブ→「図形のスタイル」グループのダイアログランチャー

②「塗りつぶし」項目

③「線の色」項目で「線なし」を選択

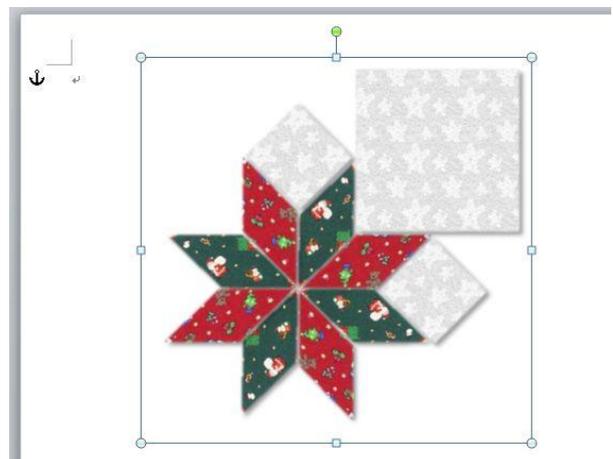
④「塗りつぶし (図またはテキスト)」を選び、「ファイル」ボタンから、3で見つけた緑色の布地を選択

⑤「光彩とぼかし」項目や「影」項目で、好みでぼかしや影を入れる

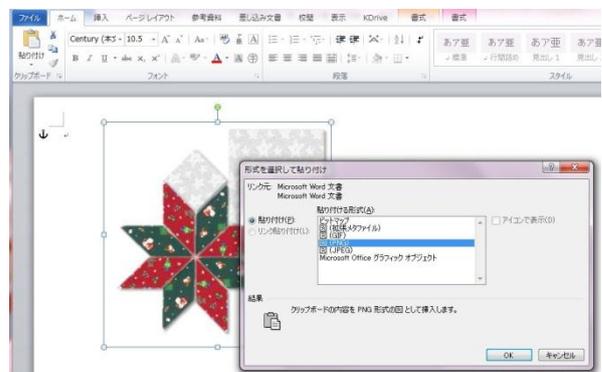


ほかの図形も同様にして、3で見つけた布地画像を貼り付けていきます。

すべての図形を布地画像にしたなら、必要な図形をコピーして、右図のような図形群にし、グループ化します。



グループ化した図形群をコピー→「形式を選択して貼り付け」で「図 (PNG)」で貼り付けます (図形群のまま貼り付けていくと、メモリ消費量が多くなり、ワードが動きにくくなる)。



貼り付けた図 (PNG) を必要なだけコピーし、整列させてできあがり。

